

平成 24 年度 大栄経理学院

第 133 回日商簿記検定試験 模範解答

3 級

商業簿記

第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売買目的有価証券	4,877,000	当 座 預 金	4,600,000
			当 座 借 越	277,000
2	仕 入	381,700	受 取 手 形	130,000
			売 掛 金	250,000
			現 金	1,700
3	資 本 金	164,000	現 金	290,000
	租 税 公 課	126,000		
4	旅 費 交 通 費	4,600	現 金 過 不 足	4,600
5	損 益	794,000	資 本 金	794,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

第 2 問 (12 点)

繰 越 商 品

1/1 前期繰越	50,000	1/31 仕 入	50,000
31 仕 入	45,000	31 次月繰越	45,000
	95,000		95,000

仕 入

1/7 買 掛 金	60,000	1/12 買 掛 金	10,000
18 支払手形	90,000	31 繰越商品	45,000
31 繰越商品	50,000	" 損 益	145,000
	200,000		200,000

売 上

1/16 売 掛 金	20,000	1/10 売 掛 金	100,000
31 損 益	180,000	20 現 金	75,000
		25 受取手形	25,000
	200,000		200,000

損 益

1/31 仕 入	145,000	1/31 売 上	180,000
----------	---------	----------	---------

1 つにつき 2 点 合計 12 点

(配点は、当学院の予想です)

第 3 問 (30 点)

合 計 残 高 試 算 表

平成 25 年 1 月 31 日

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
378,000	530,000	現 金	152,000	
902,000	1,500,000	当 座 預 金	598,000	
300,000	500,000	受 取 手 形	200,000	
580,000	1,050,000	売 掛 金	470,000	
	15,000	貸 倒 引 当 金	24,000	9,000
280,000	280,000	繰 越 商 品		
20,000	120,000	前 払 金	100,000	
	60,000	前 払 家 賃	60,000	
600,000	600,000	備 品		
		備品減価償却累計額	240,000	240,000
	100,000	支 払 手 形	330,000	230,000
	370,000	買 掛 金	650,000	280,000
	120,000	前 受 金	150,000	30,000
		資 本 金	2,136,000	2,136,000
	5,000	売 上	870,000	865,000
560,000	580,000	仕 入	20,000	
98,000	98,000	給 料		
60,000	60,000	支 払 家 賃		
5,000	5,000	通 信 費		
7,000	7,000	水 道 光 熱 費		
3,790,000	6,000,000		6,000,000	3,790,000

1 つにつき 2 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

第 4 問 (8 点)

(1)

仕 入 伝 票	
平成 25 年 1 月 21 日	
買 掛 金	180,000

出 金 伝 票	
平成 25 年 1 月 21 日	
(買 掛 金)	30,000

(2)

振 替 伝 票 (借方)	
平成 25 年 1 月 21 日	
(仕 入)	150,000

振 替 伝 票 (貸方)	
平成 25 年 1 月 21 日	
(買 掛 金)	150,000

各 2 点 合計 8 点
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (30 点)

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	76,500			900			75,600	
当 座 預 金	187,500						187,500	
受 取 手 形	41,000						41,000	
売 掛 金	112,000			20,000			92,000	
売買目的有価証券	38,200			1,200			37,000	
繰 越 商 品	46,000		42,000	46,000			42,000	
建 物	3,000,000						3,000,000	
備 品	750,000						750,000	
支 払 手 形		28,000						28,000
買 掛 金		86,000						86,000
借 入 金		560,000						560,000
仮 受 金		20,000	20,000					
貸 倒 引 当 金		780		1,880				2,660
建物減価償却累計額		1,188,000		108,000				1,296,000
備品減価償却累計額		375,000		125,000				500,000
資 本 金		1,912,760	123,000					1,789,760
引 出 金	123,000			123,000				
売 上		927,000				927,000		
仕 入	438,500		46,000	42,000	442,500			
給 料	252,000				252,000			
消 耗 品 費	7,900			1,500	6,400			
支 払 保 険 料	13,440			3,360	10,080			
支 払 利 息	11,500		460		11,960			
	5,097,540	5,097,540						
雑 (損)			900		900			
貸倒引当金 (繰入)			1,880		1,880			
有価証券評価 (損)			1,200		1,200			
消 耗 品			1,500				1,500	
減 価 償 却 費			233,000		233,000			
(前 払) 保 険 料			3,360				3,360	
(未 払) 利 息				460				460
当 期 純 (損 失)						32,920	32,920	
			473,300	473,300	959,920	959,920	4,262,880	4,262,880

1 つにつき 3 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

【 3 級解説】

第 1 問

1. 有価証券購入時の購入手数料は、有価証券の取得原価に含めます。また、当座借越契約を結んでいるため、当座預金残高を超える支払部分は「当座借越」勘定で処理します。

$$\text{売買目的有価証券} : ¥5,000,000 \times \frac{¥97.3}{¥100} + ¥12,000 = ¥4,877,000$$

2. 商品仕入時の引取運賃は、商品の取得原価に含めます。また、為替手形を振り出したときは、「売掛金」勘定の減少として処理します。
3. 店主の所得税および住居部分に係る固定資産税は、店主個人が負担すべきものです。よって「資本金」勘定の減少として処理します。「引出金」勘定は指定科目にないため使用しない点に注意しましょう。
5. 損益勘定の貸借差額(当期純利益)を「資本金」勘定に振り替えます。

第 2 問

分記法は、商品を仕入れたときに「商品」勘定の借方に記入し、売り上げたときに原価で「商品」勘定を減少させると同時に、販売益を「商品売買益」勘定の貸方に記入する方法です。値引きや返品は基本的に仕入時・売上時の逆(取消)仕訳を行います。売上値引の場合は商品売買益のみを減少させます。

分記法による 1 月中の取引

1/ 7 (商 品)	60,000	(買 掛 金)	60,000
10 (売 掛 金)	100,000	(商 品)	80,000
		(商 品 売 買 益)	20,000
12 (買 掛 金)	10,000	(商 品)	10,000
16 (商 品)	15,000	(売 掛 金)	20,000
(商 品 売 買 益)	5,000		
18 (商 品)	90,000	(支 払 手 形)	90,000
20 (現 金)	75,000	(商 品)	60,000
		(商 品 売 買 益)	15,000
25 (受 取 手 形)	25,000	(商 品)	20,000
		(商 品 売 買 益)	5,000
31 決算振替仕訳(損益振替)			
(商 品 売 買 益)	35,000	(損 益)	35,000

分割法(三分法)は、商品を仕入れたときに「仕入」勘定の借方に記入し、売り上げたときに売価で「売上」勘定の貸方に記入します。分記法と違い、期中処理で商品売買益が判明しないため、決算において売上原価の算定仕訳を行い商品売買益を計算する必要があります。

三分法による 1 月中の取引

1/ 7 (仕 入)	60,000	(買 掛 金)	60,000
10 (売 掛 金)	100,000	(売 上)	100,000
12 (買 掛 金)	10,000	(仕 入)	10,000
16 (売 上)	20,000	(売 掛 金)	20,000
18 (仕 入)	90,000	(支 払 手 形)	90,000
20 (現 金)	75,000	(売 上)	75,000
25 (受 取 手 形)	25,000	(売 上)	25,000

31 決算整理仕訳(売上原価の算定)

(仕 入)	50,000 ^{*1}	(繰 越 商 品)	50,000
(繰 越 商 品)	45,000 ^{*2}	(仕 入)	45,000

*1 期首商品棚卸高：分記法による商品勘定の前期繰越より

*2 期末商品棚卸高：分記法による商品勘定の次月繰越より

決算振替仕訳(損益振替)

(売 上)	180,000	(損 益)	180,000
(損 益)	145,000	(仕 入)	145,000

第 3 問

1 月中の取引の仕訳は以下のとおりです。二重仕訳については、重複して集計しないよう注意しましょう。

1. 現金に関する取引

(前 払 金)	40,000	(現 金)	40,000
(仕 入)	100,000	(現 金)	100,000
(現 金)	50,000	(前 受 金)	50,000
(通 信 費)	5,000	(現 金)	5,000
(水 道 光 熱 費)	7,000	(現 金)	7,000
(現 金)	100,000	(当 座 預 金)	100,000

2. 当座預金に関する取引

(当 座 預 金)	150,000	(受 取 手 形)	150,000
(当 座 預 金)	450,000	(売 掛 金)	450,000
(支 払 手 形)	100,000	(当 座 預 金)	100,000
(買 掛 金)	300,000	(当 座 預 金)	300,000
(給 料)	98,000	(当 座 預 金)	98,000
(現 金)	100,000	(当 座 預 金)	100,000

3. 仕入に関する取引

(仕 入)	100,000	(現 金)	100,000
(仕 入)	80,000	(支 払 手 形)	80,000
(仕 入)	250,000	(買 掛 金)	250,000
(仕 入)	50,000	(受 取 手 形)	50,000
(仕 入)	100,000	(前 払 金)	100,000
(買 掛 金)	20,000	(仕 入)	20,000

4. 売上に関する取引

(受 取 手 形)	200,000	(売 上)	200,000
(前 受 金)	120,000	(売 上)	120,000
(売 掛 金)	550,000	(売 上)	550,000
(売 上)	5,000	(売 掛 金)	5,000

5. その他の取引

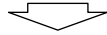
(支 払 家 賃)	60,000	(前 払 家 賃)	60,000
-------------	--------	-------------	--------

(貸 倒 引 当 金)	15,000	(売 掛 金)	15,000
(買 掛 金)	50,000	(支 払 手 形)	50,000

第 4 問

全体仕訳

(仕 入)	180,000	(現 金)	30,000
		(買 掛 金)	150,000



(1) 5 伝票制による起票

(仕 入)	180,000	(買 掛 金)	180,000・・・仕入伝票
(買 掛 金)	30,000	(現 金)	30,000・・・出金伝票

(2) 3 伝票制による起票

(仕 入)	150,000	(買 掛 金)	150,000・・・振替伝票
(仕 入)	30,000	(現 金)	30,000・・・出金伝票

第 5 問

決算整理事項等

1. 現金過不足について

(雑 損)	900	(現 金)	900
---------	-----	---------	-----

2. 仮受金について

(仮 受 金)	20,000	(売 掛 金)	20,000
-----------	--------	-----------	--------

3. 貸倒引当金の設定について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	1,880 *	(貸 倒 引 当 金)	1,880
-------------------	---------	---------------	-------

受取手形と売掛金の期末残高の 2%(¥2,660)を貸倒引当金として設定するため、決算整理前の貸倒引当金残高 ¥780 に ¥1,880 を繰り入れます。

$$* (\text{¥}41,000 + \text{¥}112,000 - \text{¥}20,000) \times 2\% - \text{¥}780 = \text{¥}1,880$$

4. 売買目的有価証券の評価替について

(有 価 証 券 評 価 損)	1,200 *	(売 買 目 的 有 価 証 券)	1,200
-------------------	---------	---------------------	-------

$$* \text{時価総額 ¥}37,000 - \text{簿価総額 ¥}38,200 = \text{¥}1,200$$

5. 売上原価の算定について

(仕 入)	46,000 ^{*1}	(繰 越 商 品)	46,000
(繰 越 商 品)	42,000 ^{*2}	(仕 入)	42,000

売上原価勘定に期首商品棚卸高(繰越商品勘定残高)および当期商品仕入高(仕入勘定残高)を加算し、期末商品棚卸高を減算することで売上原価を算定します。

*1 期首商品棚卸高：整理前 T/B 「繰越商品」勘定より

*2 期末商品棚卸高

6. 消耗品について

(消 耗 品)	1,500	(消 耗 品 費)	1,500
-----------	-------	-------------	-------

決算整理前試算表に「消耗品費」勘定(費用)が計上されているため、購入時に費用処理していることが分かります。よって、決算時に未使用分を「消耗品」勘定(資産)に振り替えます。

7. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	233,000	(建物減価償却累計額)	108,000 ^{*1}
		(備品減価償却累計額)	125,000 ^{*2}

*1 $(¥3,000,000 - ¥300,000) \div 25 \text{ 年} = ¥108,000$

*2 $(¥750,000 - ¥0) \div 6 \text{ 年} = ¥125,000$

8. 引出金について

(資 本 金)	123,000	(引 出 金)	123,000
-----------	---------	-----------	---------

9. 支払保険料について

(前 払 保 険 料)	3,360	(支 払 保 険 料)	3,360
---------------	-------	---------------	-------

* $¥13,440 \times \frac{3 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥3,360$ (次期 1/1 から 3/31 までの 3 カ月分を繰り延べます)

10. 借入金利息について

(支 払 利 息)	460	(未 払 利 息)	460
-------------	-----	-------------	-----

* $¥60,000 \times 2.3\% \times \frac{4 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥460$ (9/1 から 12/31 までの 4 カ月分を見越計上します)